

あ と が き

評価済核データファイルの作成は商品開発と酷似している。ユーザーのニーズに合ったものである必要があり、ユーザーに使われてこそ意味をもつものになる。ユーザーの使用経験がフィードバックされることにより、より良いものが開発される。

今JENDL-3のグレードアップを目指して、VERSION-2の作成が進行中である。シグマ研究委員会の委員にアンケートをしたところ、数名の方からしか回答がなかったとのことである。JENDL-3を使用された方は何らかの意味で不満をお持ちではないかと思う。要望があれば、どんな些細なことでも、お知らせ頂ければJENDL-3の改善に役立つと思われる。ぜひお寄せ下さい。

また反面では原子核物理学と知識工学の最新の成果を核データの研究に取り入れてユーザーのニーズを広げる努力も必要と思われる。広い視野に立った研究が進められることを心から願うものである。

(中島)

編集委員

中川 庸雄 (委員長、原研)、浅見 哲夫 (NEDAC)、井頭 政之 (東工大)、
喜多尾 憲助 (放医研)、高野 秀機 (原研)、中島 豊 (原研)、片倉 純一 (原研)

